

平成23年度優良工事等事務所長表彰式を挙行

平成23年7月26日(火)に当事務所において、平成22年度に完成した工事及び業務の成績等が優秀な受注者、技術者の方々へ事務所長表彰を行いました。

また、優良工事等表彰となった工事について、当該工事の施工に貢献した企業、専門技術の維持と向上に貢献した関係協力会社、技術者へも事務所長より表彰状を授与いたしました。



受賞者代表ご挨拶



全体の記念撮影



なめかわ きたまたざわ
平成21年度木曽川水系滑川・北股沢合流
点流路工工事

事務所長表彰
優良工事施工者

：木曾土建工業株式会社



平成21年度木曽川水系橋ヶ谷橋梁上部
工工事

事務所長表彰
優良工事施工者
地域貢献等工事施工者

：川田工業株式会社 名古屋営業所

事務所長表彰
協力会社

：今井重機建設株式会社

平成23年度 優良工事等事務所長表彰式



平成22年度21号御嵩地区災害応急復旧その1工事

事務所長表彰
地域貢献等工事施工者

：日本ハイウェイ・サービス株式会社
名古屋支店

平成23年度 優良工事等事務所長表彰式



平成22年度21号御嵩地区災害応急復旧その2工事

事務所長表彰
地域貢献等工事施工者

：株式会社 藤本組

平成23年度 優良工事等事務所長表彰式



平成22年度21号御嵩地区災害応急復旧その3工事

事務所長表彰
地域貢献等工事施工者

：株式会社吉川組

平成23年度 優良工事等事務所長表彰式



平成21年度木曾川水系川上流路工
上流部床固工事

事務所長表彰
地域貢献等工事施工者

：株式会社吉川工務店

平成23年度 優良工事等事務所長表彰式



平成21年度木曾川水系橋ヶ谷工事用
道路工事

事務所長表彰
地域貢献等工事施工者

：株式会社加藤工務店

平成23年度 優良工事等事務所長表彰式



平成21年度木曾川水系川上流路工下
流部床固工事

事務所長表彰
地域貢献等工事施工者

なかじま
：株式会社中島工務店

平成21年度21号可児御嵩バイパス井尻
地区舗装工事

局長表彰
優良工事施工者

：株式会社佐藤渡辺 中部支店

事務所長表彰
優良技術者（工事）

：株式会社佐藤渡辺 中部支店
監理技術者：宮内 友孝

事務所長表彰
協力会社

：株式会社栗山組

事務所長表彰
協力会社

：ワールド開発工業株式会社

事務所長表彰
協力会社の主任技術者

：株式会社栗山組 すすむ
主任技術者：小栗 晋

事務所長表彰
協力会社の主任技術者

：ワールド開発工業株式会社 ともき
主任技術者：今川 智基

平成23年度 優良工事等事務所長表彰式



なめかわ
平成22年度滑川流域施設設計業務

事務所長表彰
優良業務実施者

：株式会社建設技術研究所 中部支社

局長表彰
優良技術者（業務）

：株式会社建設技術研究所 中部支社

管理技術者：金野 ^{たかし} 崇史

平成23年度 優良工事等事務所長表彰式



**平成22年度多治見管内交通安全
事故対策業務**

事務所長表彰
優良業務実施者

：パシフィックコンサルタンツ株式会社
中部支社

事務所長表彰
優良技術者（業務）

：パシフィックコンサルタンツ株式会社
中部支社

管理技術者：鈴木 ^{けんじ} 健嗣

平成23年度 優良工事等事務所長表彰式



**平成22年度単価契約多治見道路
積算技術業務**

事務所長表彰
優良業務実施者

：イッセイコンサルタント株式会社

平成23年度 優良工事等事務所長表彰式



※ 平成23年7月19日(火)の中部地方整備局長表彰（当該事務所該当分）も同時掲載しております。

表彰式終了後『意見交換会』を行い、①東日本大震災支援活動について、②平成22年7月15日豪雨災害対応について、③工事・業務の実施について、それぞれにたいへん貴重なご意見をいただきました。

①東日本大震災支援活動について

- ・がれき（木材）の片付けにアイアンHOOKが不足している。
- ・被災地支援する者に指示をする人が不足している。
連絡体制や指示を行う者の日頃からの訓練必要である。
- ・指示系統が不十分であることを前提に行動する必要がある。
- ・警報等解除まで避難を続けるべしと語り継ぐべき。
第二波で被災者続出。
- ・被災地への支援物資に嗜好品を入れ喜ばれた。
（一般支援物資のみではメニュー不足）
- ・がれきの撤去には、ミニバックホウが役立った。
- ・民間の物流は早急に回復。現地で調達も支援のひとつ。但し、ガソリン不足。



②平成22年7月15日豪雨災害対応について

- ・被災現場に向かうルートが通行止めとなっており、現場到着に時間がかかった。現地に精通している技術者が必要であり、育てていくことも必要である。
 - ・現地に派遣する部隊の2次災害を防ぐため、マニュアルの整備などの対応が必要である。
 - ・即ち飲酒しており、運転できない従業員がいた。
（当番制などの検討課題も）
 - ・通行可能な道路は連絡を取り合い情報を得た。
国・県それぞれの情報を共有すべきで連携は不可欠。
 - ・地域情報に精通し現場に密着している建設業者が災害対応には有効である。



③工事・業務の施工管理について

- ・現道とバイパスが交差する段差解消の施工は特に安全管理に心がけた。
- ・バイパス整備にあたり、地域住民とのコミュニケーションが大切と実感。要望に対しては良く意見を聞くことが重要である。
- ・突発的な湧水に臨機に対応した。現場の管理は様々な現象を想定して行っている。

